

全力で走った激動の1460日



街頭での市政演説。定期的に市民の皆さんへ語りかけています。

二〇一年の四月、お陰様の「しがらみもない環境を基盤に、私を信じては議会へ送り届けて下さった市民の皆様に、今日までの四年間を振り返れば、私などは発展途上の身であり、議員として行き届かぬ未熟な点も多々あったと存じます。

しかし、「一つだけ胸を張って言える事は、市民の質問と広島市へ対して、誠実と全力を尽してきました」自信はあります。

過去四年間、地域住民の方々から無数の要望を頂戴しては、都度「現場」へ向かい、人々との対話をもつて諸問題の解決へ取り組んで参りましたが、個別の実績を全て列挙すると電話帳程になりますので(本當です)紙面では割愛させて頂きります。(二面に続く)

「地域」において

二〇一一年の四月、お陰様の「しがらみもない環境を基盤に、私を信じては議会へ送り届けて下さった市民の皆様に、今日までの四年間を振り返れば、私などは発展途上の身であり、議員として行き届かぬ未熟な点も多々あったと存じます。

しかし、「一つだけ胸を張って言える事は、市民の質問と広島市へ対して、誠実と全力を尽してきました」自信はあります。

過去四年間、地域住民の方々から無数の要望を頂戴しては、都度「現場」へ向かい、人々との対話をもつて諸問題の解

決へ取り組んで参りましたが、個別の実績を全て列挙すると電話帳程になりますので(本當です)紙面では割愛させて

いしばしんぶん

石
橋

新

聞

不定期発行

発行者
石橋りゆうじ後援会事務所
〒731-0111
広島市安佐南区
東野1丁目21-11
Tel & Fax. (082)962-2964
E-Mail: ishibashi@Koeya.com
Webサイト http://koeya.com/

一四六〇日の活動報告書 1～2

紙面 広島市の未来を検証する 4～5

石橋りゆうじとは?
テレビ欄ではなく
石橋りゆうじの「人生の歩み」。

8 7 6

広島市豪雨土砂災害のお見舞いを申し上げます。

昨年、8月20日の豪雨災害によりお亡くなりになられた方々に心から哀悼の意を表しますとともに、

被災された多くの方々に心からお見舞いを申し上げます。

一人の議会人として、一日も早い復旧復興へ向けて今後も全力で取り組んでまいります。

ISHIBASHI Challenge × HIROSHIMA

保育や介護の
待機「ゼロ」への挑戦!

自分より強い
社会の敵を倒す。
所存です♪

Challenge, Now.

「議会」において

「都市の基盤整備」「スポーツ振興」「平和行政」「災害復旧」「地域防災」「教育」「福祉政策」「広域連携」「市役所の機能強化」「観光推進」等々、議会や各委員会の場で積極的に手を挙げ、都市が抱える諸課題の問題提起、改善への新たな提言を継続して行って参りました。(議会内でもトップレベルの発言回数)。



2013年(平成25年)6月24日 第2回定期例会一般質問

女子サッカーのアンジュユビオレ広島や、広島でのプロ・バケットボールチームの誕生、小学生のスポーツクラブ設立、スポーツ大会・教室の実施など、様々な事業の企画・構想段階から携わらせて頂き、当面のハードルをクリアするためにまた行政との橋渡しを務めては、国内外から専門家を招致するなど、「地域の活性化」「青少年の健全育成」に徹底して取り組んで参りました。

ム建設への推進、待機児童の解消、公共料金のコンビニ収納や繁華街の街頭に設置された灰皿の撤去、ご当地ナンバープレートの導入、飲酒運転の根絶へ向けた議会と市役所の協同アクションなど、僭越ながら、幾つも前進した事業があることをご報告させて頂きます。



各委員界でも、積極的に発言。

「議員」として
女子サッカーのアンジュユビオレ広島や、広島でのプロ・バケットボールチームの誕生、小学生のスポーツクラブ設立、スポーツ大会・教室の実施など、様々な事業の企画・構想段階から携わらせて頂き、当面のハードルをクリアするためにまた行政との橋渡しを務めては、国内外から専門家を招致するなど、「地域の活性化」「青少年の健全育成」に徹底して取り組んで参りました。

重ねて、各保育園とも連携し、現場の声がスピード感をもって行政へ届けられ、また改善されるよう、「現役世代の環境整備」「待機児童の解消」にも努めて参りました。

他に、「情報発信」「活動報告等」に関しては、一・八万人の皆様(市民)全てに声を届けることは困難を極め、何卒ご容赦頂ければ幸存しますが、広く市域全般から市民の方々をお招きしては、各所で「街づくり勉強会」や「市

政報告会」を頻繁に開催し、一方では定期的に街頭に立つては演説を行い、「情報発信」にては説を行った次第です。

「人の市民」として

次時代を支えるのは間違いないなく、「十代や二十代の若者たち」です。そこで大学間の垣根を超えた沢山の学生と一緒に幾つものイベントを企画・実施しては、「地域内における若者の役割」(重要性)を認識して頂くと共に、社会・政治・経済など様々な形態の勉強会や講演会を催しては、「当事者意識の醸成」も図って参りました。

平行して、自らが籍を置く「青少年を育む会」や「地域の社会福祉協議会」を通じて、人生の諸先輩方とも密に交流連携を図り、老若男女を問わず、あらゆる世代を「結ぶ」取り組みに注力して参りました。



積極的に市民と関わり、市民と行政を結ぶ

人口減少(流出)が既に始まっている状況にあります。統計で図①は「広島県の人口推計」で、県の単位では、既に人口減少の一途を迎える状況にあり、呉市では年間に約三千五百人、尾道市なども年間で「約五百人」の人口減少が見られ、二十五年後の2040年には、広島県の総人口は現在よりも「約四十万人」も少ない「約二百三十九万人」になると予想されています。しかも、街の活発な活動や経済を下支えしてきた現役世代(十五歳以上、六十五歳未満)の人口が「約四十分」も減少する見込みであり、このような社会では「如何なる変化が生じるのか」幾つか想定される問題を列挙してみる

人口減少(流出)が既に始まっている状況にあります。
統計で図②は「広島県の人口推計」で、県の単位では、既に人口減少の一途を迎える状況にあり、呉市では年間に約三千五百人、尾道市なども年間で「約五百人」の人口減少が見られ、二十五年後の2040年には、広島県の総人口は現在よりも「約四十万人」も少ない「約二百三十九万人」になると予想されています。

人口減少(流出)が既に始まっている状況にあります。
統計で図②は「広島県の人口推計」で、県の単位では、既に人口減少の一途を迎える状況にあり、呉市では年間に約三千五百人、尾道市なども年間で「約五百人」の人口減少が見られ、二十五年後の2040年には、広島県の総人口は現在よりも「約四十万人」も少ない「約二百三十九万人」になると予想されています。

検証する



しかし、高齢化するのは人々だけではなく、現在、広島市には「約三千三百」もの公共施設が存在しますが、ほとんどが高度経済成長期に建設された建物ばかりで、向こう二十年では多くの建物が老朽化による更新期を迎え、そこで必要な経費は、向こう五十年間で「兆九千億円」に上ると算出されています。

必要経費は飛躍的に必要となる可能性が生じるとともに、公共財産(道路や橋、公民館に上下水道など)を、限られた少ない人口で維持・管理していくことになり、このままでは確実に、「私たちの子ども世代」へ大きな負担が庄掛けかかるに至ります。

人口が確実に減少するのであれば、これまで「働きたくても働けなかった女性」や「まだ働けるのに機会の少ない世代」へ働き手や子育ての支援など、各個人として、企業としても、各自治体へ納めていた税金も減つて行き、その後並行して、高齢化による医療や介護などの社会保障費は確かに増えて行きます。(現在も年間「数十億円」)の単位で増加中)

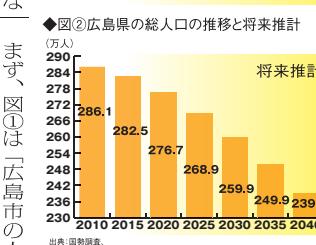
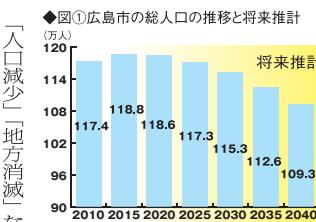
【石橋りゅうじ】の日々の活動と、広島市の過去、現在、未来が分かるwebサイト
<http://koeya.com/>
もしくは石橋りゅうじで検索♪

スマホサイトも始めました!▶
<http://koeya.com/sp/>

どのフレーズが頻繁に聞かれ実に直面したならば、我々の生活は如何に変化していくのか?」を、ここに改めて、皆様と一緒に考えて参りたいと存じます。

まず、図①は「広島市の人口推計」で、現在は広島市も人口が「微増」としている状況ですが、向こう数年間で頭打ちとなり、今後は確実に人口減少へ突入して行きます。ただし、広島市は中四国地方でも最大規模を誇る街であ

り、効率化や統合が進み、近年でこうした転勤族や単身赴任の方々は、広島市に住民票を移していないケースも多く見られ、実質は「数字以上」の店舗に支えられてきた街でもあります、民間企業の効率化や統合が進み、近年でこうした転勤族や単身赴任の方々は、広島市に住民票を移していないケースも多く見られ、実質は「数字以上」の店舗に支えられてきた街でもあります。民間企業の効率化や統合が進み、近年でこうした転勤族や単身赴任の方々は、広島市に住民票を移していないケースも多く見られ、実質は「数字以上」の店舗に支えられてきた街でもあります。



人口が四十万人減少!?

市議会について

1 市議会の役割とは?

市民の意思を代表して予算や条例を

議員は「地域代表」と市域代表双方の役割を担い、

予算や条例を

監視しては最終決定する

行政を監視しては

広島の未来を



「コミュニケーション能力」
笑顔が大好きで、人と対話
する事が大好きな性分。

今まで、国内外で沢山の
「幅広いネットワーク」
友人と無数の友情を築いて参
りました。

今まで、様々な業種・業



疲れ知らず？！溌剌とした日々を過ごしています！

「無尽蔵の体力」
身体が資本で健康第一！四

疲れ知らず？！溌剌とした日々を過ごしています！



「熱意と正義感」

十三歳で、未だ十キロのジョギングと筋力トレーニングは欠かしません。
現在も、草野球チーム、ソフトボール、サッカー、フットサル、ソフトバレーボールチームに所属し、現役プレイヤーとしても活動中。

「まだ、道半ば。」
明日まで議会においても、常に大先輩と意見をぶつけ合
いながら、誰と不仲になるで
もななく、調和をもって取り組
み、また初心を忘れることな
く、誠実に全力で活動して参
りました。
引き続き、一人一人の声と
暮らしを大切にする「血の通
た広島市」を目指します！

▼だからこそ、私は今後も
「議員らしからぬ議員」を
目指して参ります。

編集長 石橋りゅうじ

「石橋りゅうじ」とは？



地元の稲刈り行事にて。皆さんと語らう大事な時間です。

皆様へ「石橋りゅうじ」を知って頂くため、僭越ながら自己分析の「自己紹介」となります。
勿論、これから多くを学び、成長する所存です！

界の方々と幅広い人脈を培つて参りました。

「バランス感覚」
広島を愛し、広島で暮らしてきました一人としてまた広島で暮らしてきました一人として、広島の魅力や秘めた可能性に諸問題、地域・市域・県域で着手する政策を、常に客観的に行って参ります。

広島・東京・海外生活を通じて、長年にわたり身を置いてきたメディア界や財政界をはじめ、「スポーツを通じて人々を結ぶ」目標を掲げては「トップス広島」の各クラブとも連携。

今まで、様々な業種・業

被災地の復旧・復興

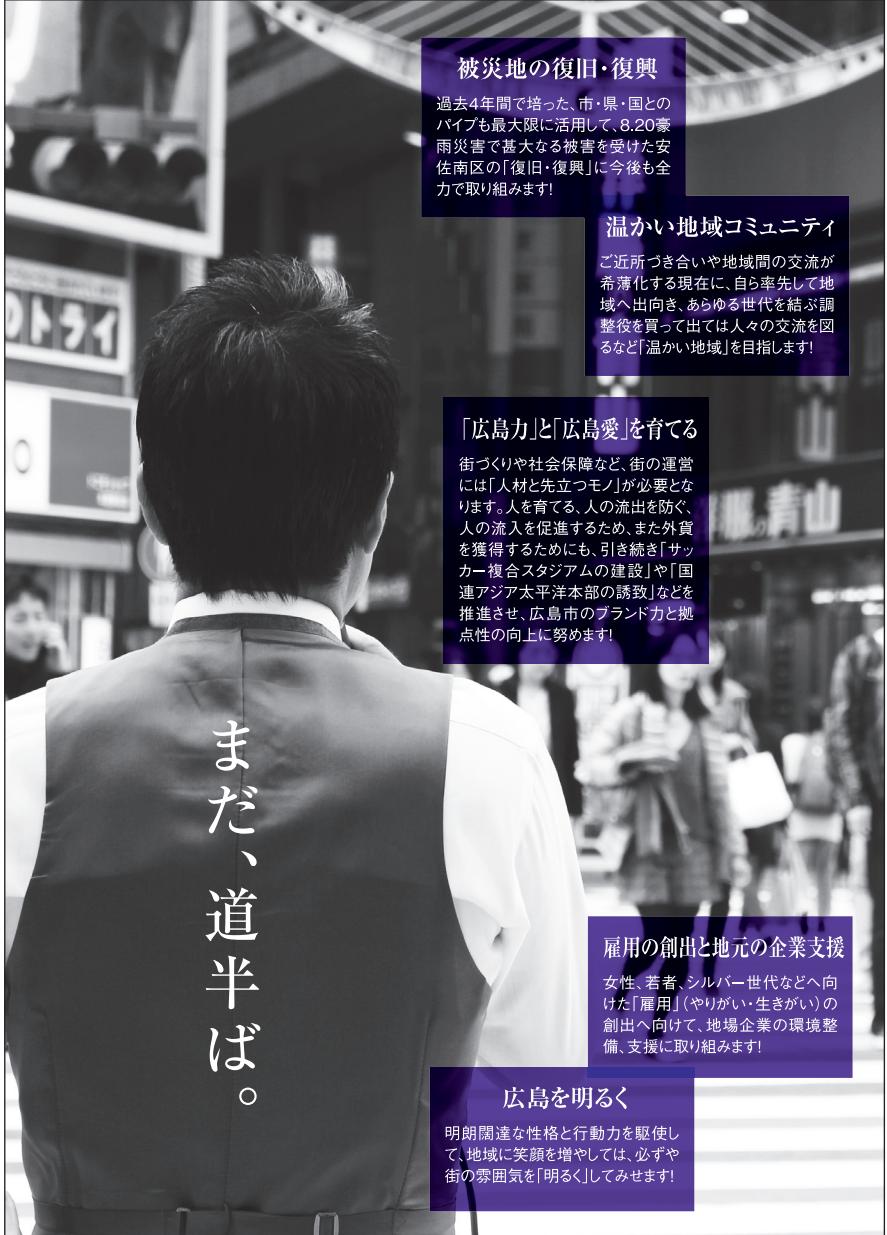
過去4年間で培った、市・県・国とのパイプも最大限に活用して、8.20豪雨災害で甚大なる被害を受けた安佐南区の「復旧・復興」に今後も全力で取り組みます！

温かい地域コミュニティ

ご近所づき合いや地域間の交流が希薄化する現在に、自ら率先して地域へ出向き、あらゆる世代を結ぶ調整役を買って出でては人々の交流を図るなど「温かい地域」を目指します！

「広島力」と「広島愛」を育てる

街づくりや社会保障など、街の運営には「人材と先立つモノ」が必要となります。人を育てる、人の流出を防ぐ、人の流入を促進するため、また外貨を獲得するためにも、引き続き「サッカーリーグ複合スタジアムの建設」や「国連アジア太平洋本部の誘致」などを推進させ、広島市のブランド力と拠点性の向上に努めます！



雇用の創出と地元の企業支援

女性、若者、シルバー世代などへ向けた「雇用」（やりがい・生きがい）の創出へ向けて、地場企業の環境整備、支援に取り組みます！

広島を明るく

明朗開達な性格と行動力を駆使して、地域に笑顔を増やしては、必ずや街の雰囲気を「明るく」してみせます！

石橋りゅうじ 略歴・プロフィール

1971年11月9日 長崎県に誕生。生後まもなく広島へ。

1 ホップch

1987～ 広島県安芸郡府中町の小中学校を卒業後、広島電機大学附属高等学校（広島国際学院高校）へ入学。
硬式野球部の主将を務め、3年間の在学中は、春・夏の県大会で2回の決勝進出を果たす。

1989～ 高校卒業後に上京して芸能事務所ホリプロダクションに所属。お笑いライブやテレビ出演、渋谷のイベントホールで司会や歌などマルチに活動。同時にアナウンス業や演技も学ぶ。

1995～ 新たなステージを開拓するために渡米。ニューヨークを経てカナダのトロントに渡り、FMラジオ局で生放送番組のディスクジョッキーを1年間務めた後に帰国。

1998～ フリーアナウンサーとして地元広島を拠点に活動を展開。↗

2 ステップch

朝の情報番組や深夜番組など数々のテレビやラジオ番組を担当し、ナレーターや司会業、またサンフレッチェ広島の専属場内アナウンサーを11年間務め、時にサッカー日本代表戦を担当するなど、国際スポーツ大会で幾度もマイクを握り、国内で喋りのフィールドを広げていく。

2006～ アナウンス業と並行して、地元マスコミ関係者へ呼び掛け、難病と闘う子供たちやご家族をサンフレッチェ広島のホームゲームへ招待する『スマイル・シート』を発案。同活動の賛同者、支援者はサンフレッチェ広島の全選手にまで広がり、今日まで数百組、数千人以上ものご家族を招待させて頂く事業に発展を遂げる（現在も実施中）。

3 ジャンプch

2008～ 非営利の市民団体を設立後、サッカースタジアムの建設へ向けた活動や献血啓発活動に取り組む。また政治勉強会へ通うなど、明るく、温かく、活気ある広島の創出を目指し、地域活動にも従事。

2011～ 喋りの仕事を全て辞め、退路を断って広島市議会議員選挙に『安佐南区』から無所属で立候補。「10,758票」を得て当選させて頂く（心から感謝！）。現場主義を貫き、地元『安佐南区』をはじめ、市内全域へ精力的に足を運び、また一期目から、建設委員会や都市機能向上対策特別委員会、広報委員会の副委員長を務めるなど、議会でも積極的に発言、活動をさせて頂き、今日へ至る。

天気予報（広島県）降雨0%

止まない雨はありません。
一人一人が心に希望を抱けば、
県内全域を人々の笑顔が照らし
必ず晴れ渡るでしょう♪



★ 座右の銘
「ただ生きるな、よく生きよ」

★ 趣味
サッカー、野球、バレーボール、水泳、ジョギングなど、スポーツ全般、読書、音楽鑑賞

★ 家族構成
妻 小学生の娘、両親、愛犬と二つ屋根の下で暮らす。